

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第44週の発生動向

### 全数報告の感染症 (44 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 12 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			50 歳代	女	肺結核	咳、発熱
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70 歳代	男	肺結核	咳、痰
			90 歳代	男	肺結核	全身倦怠感
		都城	80 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、食欲低下
		延岡	50 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	男	無症状病原体保有者	—
		小林	30 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			50 歳代	男	無症状病原体保有者	—
高鍋	50 歳代	女	無症状病原体保有者	—		
日向	70 歳代	男	肺結核	痰		
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	50 歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1、2産生)
		都城	5~9歳	男	患者	腹痛、血便 O157(VT型不明)
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	60 歳代	女	その他 診断の確実度：疑い	進行性認知症、ミオクロヌス、錐体路症状

### 定点把握の対象となる5類感染症

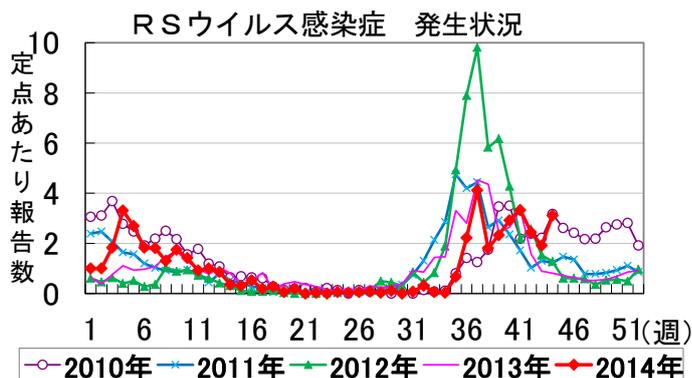
・定点医療機関からの報告総数は 515 人 (定点あたり 17.1) で、前週比 119%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

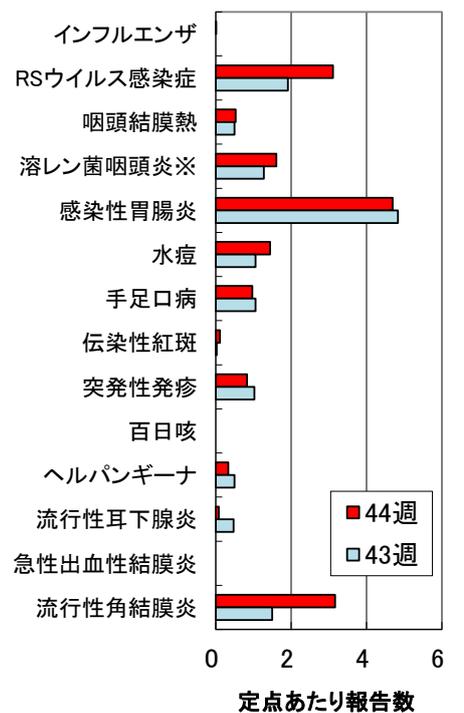
##### 【RSウイルス感染症】

・報告数は 112 人 (3.1) で、前週比 162%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\* (1.6) の約 2.0 倍であった。年齢別では 1 歳が全体の約 4 割を占めた。

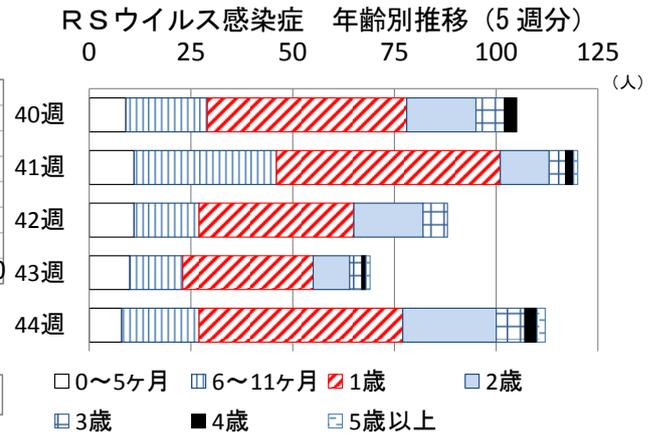
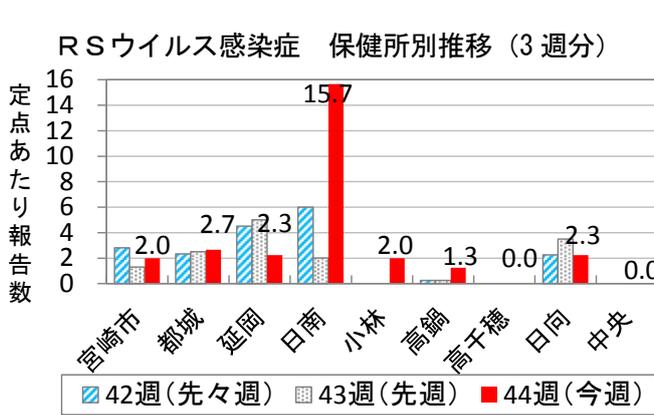
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



### 《前週との比較》

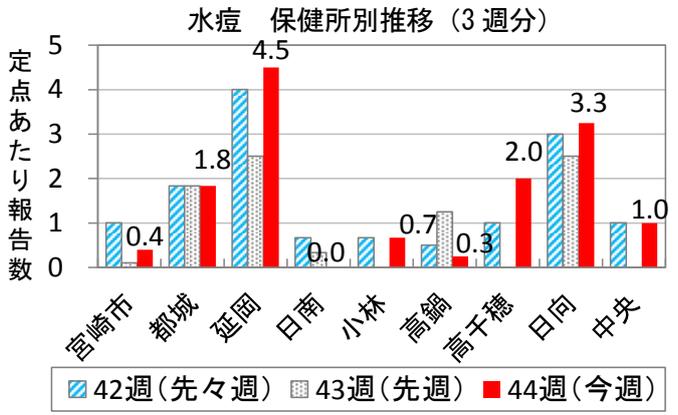
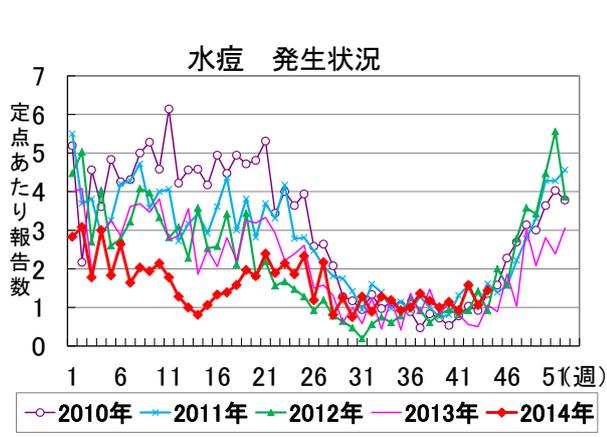


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【水痘】

・報告数は52人(1.4)で、前週比137%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.2)の約1.2倍であった。年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(4.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\*流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(4.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋保健所管内から1例報告された。患者は30歳代で、病原体はロタウイルス群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 11 月 3 日までに検出）

★細菌

報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
ライノウイルス	2ヶ月	女	2014.10.14	百日咳疑い、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.10.23
RSウイルス	5ヶ月	女	2014.10.14	RSウイルス感染症、38.6℃、上気道炎、下気道炎	鼻汁	2014.10.23
RSウイルス	1歳	男	2014.10.16	RSウイルス感染症、39.6℃、下気道炎、胃腸炎	鼻汁	2014.10.23

○百日咳疑いの乳児からライノウイルスが検出された。

○RSウイルス感染症疑いの乳児と幼児からRSウイルスが検出された。RSウイルス感染症は小児だけでなく、成人にもみられる。特に高齢者においてはインフルエンザと同程度の肺炎発症が認められ、致命率も高く、近年、国内で施設内集団発生が報告されている。また、RSウイルスは慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの呼吸器疾患の増悪に関与していることが報告されており、院内感染対策のためのRSウイルスの早期診断が重要である。

🇯🇵 全国第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 43 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	392 例				
3類感染症	細菌性赤痢	7 例	腸管出血性大腸菌感染症	45 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	6 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	4 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	17 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	18 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例	急性脳炎	5 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	20 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 117%と増加した。今週増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は5,225人(1.7)で、前週比139%と増加した。山口県(3.2)、北海道(3.1)、岩手県(2.9)からの報告が多く、年齢別では4~7歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は11,387人(3.6)で、前週比121%と増加した。大分県(6.1)、徳島県・岡山県(各5.4)、富山県(5.3)からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第44週(10月27日～11月02日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.02	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	69	112	20	16	9	47	6	5		9	
	定点あたり	1.92	3.11	2.00	2.67	2.25	15.67	2.00	1.25	0.00	2.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	19	2	3	9	2		1		1	1
	定点あたり	0.50	0.53	0.20	0.50	2.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	58	20	5	15	8		3	1	6	
	定点あたり	1.28	1.61	2.00	0.83	3.75	2.67	0.00	0.75	1.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	174	169	39	32	8	22	25	16	3	21	3
	定点あたり	4.83	4.69	3.90	5.33	2.00	7.33	8.33	4.00	3.00	5.25	3.00
水痘	報告数	38	52	4	11	18		2	1	2	13	1
	定点あたり	1.06	1.44	0.40	1.83	4.50	0.00	0.67	0.25	2.00	3.25	1.00
手足口病	報告数	38	35	2	11	19	1	2				
	定点あたり	1.06	0.97	0.20	1.83	4.75	0.33	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	4						4			
	定点あたり	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	30	15	3	4		3	2		1	2
	定点あたり	1.03	0.83	1.50	0.50	1.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.25	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	18	12	4	1	1	4	1			1	
	定点あたり	0.50	0.33	0.40	0.17	0.25	1.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	17	3	1		1					1	
	定点あたり	0.47	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	9	19	13	4	2						
	定点あたり	1.50	3.17	4.33	2.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～44週)

2類感染症	結核	204例(12)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例(2)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	12例				
5類感染症	アเมอร์バ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	2例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	10例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
	梅毒	10例	破傷風	1例	風しん	3例
	麻しん	4例				

( )内は今週届出分、再掲